

## 第 71 回 植生

■被度、頻度、優占種、相観（、標徴種）の各用語を説明せよ。

- ・ 被度：各植物の葉が地表面をおおっている割合
- ・ 頻度：各植物が出現した方形区の数割合
- ・ 優占度：被度および頻度から計算し
- ・ 優占種：優占度で決める。上からみて地面をおおっている程度が大きい植物種
- ・ 相観：植生の全体をながめたときの外観。主に優占種が特徴づける
- ・ 標徴種：ある植生を他の植生と区別する特徴的な植物種（優占度が低くてもいい）

■森林の階層構造を述べよ。

- ・ 高木層、亜高木層、低木層、草本層
- ・ 地表層（コケ層）、地中層（根系層）
- ・ ちなみに、樹木の葉が茂っている部分を「樹冠」、樹冠がつながった森林全体の最上部を「林冠」、森林内の地表に近い部分を「林床」と呼ぶ

■森林を分類せよ。

- ・ 熱帯多雨林、亜熱帯多雨林、照葉樹林、夏緑樹林、硬葉樹林、雨緑樹林、針葉樹林

■森林の特徴を、階層構造・生産構造・物質生産・明るさなどの観点から概説せよ。

- ・ 階層構造が豊富。熱帯多雨林では、7～8層に及ぶこともある
- ・ 林冠に葉が集中する。その構造を支えるための非同化器官の割合も大きい
- ・ 樹木により「葉の寿命」や「葉面積指数」が異なる。葉面積指数は一般的に大きく、生産量も大きい
- ・ 夏緑樹林のブナ林では、落葉している冬は林床が明るい夏は暗い
- ・ マツ林は、針葉樹で常緑樹であるが、まばらなので林床は比較的明るい
- ・ カシ林は、広葉樹で常緑樹であり、年中林床は暗い